

# 取扱説明書

## 赤外線マイクロホン ATIR-T880

## 赤外線 2 ピースマイクロホン ATIR-T850

audio-technica

お買い上げありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。  
また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

### 赤外線会議システムプレゼンター用マイクロホン

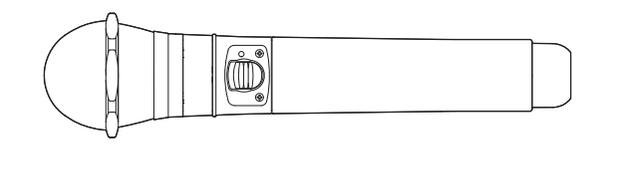
本製品は赤外線会議システム(ATUC-IR / ATCS-60)専用のプレゼンター用マイクロホンです。会議ユニット(ATUC-IRDU / ATCS-M60 / ATCS-M60a / ATCS-M65)と同時に使用できます。  
ATUC-IRでは合計5台まで、ATCS-60では合計3台まで使用できます。

- 隣接した部屋と混信しない赤外線伝送方式により、安定した運用を実現
- 送信チャンネルを簡単な操作で切り換え可能
- 高音質・高感度のコンデンサーマイクユニット搭載
- 使用する部屋の大きさに合わせて、赤外線出力を3段階(ECO/LO/HI)に切り換えられる省電力タイプ  
※ECO時は約8.5時間連続使用可能

## 同梱品を確認する

本製品をご使用になる前に、下記同梱品がすべてそろっていることを確認してください。万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社ホームページ記載の各営業所までご連絡ください。

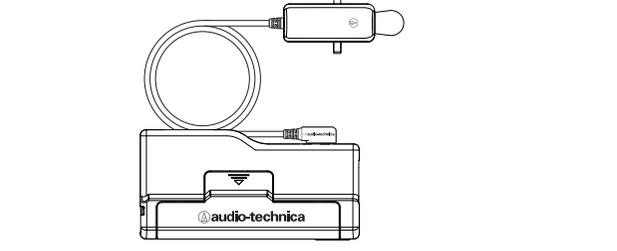
### ATIR-T880 (ATUC-IR / ATCS 仕様)



- ・マイクロホン (ATIR-T880)
- ・IRガード
- ・ミニドライバー
- ・CHシール
- ・取扱説明書 (本書)

※マイクロホンには充電式電池が取り付けられています。

### ATIR-T850 (ATUC-IR / ATCS 仕様)



- ・トランスミッター (ATIR-T850)
- ・マイクロホン (ATIR-M850)
- ・取扱説明書 (本書)
- ・ミニドライバー
- ・CHシール

※トランスミッターには充電式電池が取り付けられています。

## 安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

- 危険** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
- 警告** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
- 注意** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的障害が発生する可能性があります」を意味しています。

### 本体について

- 警告**
  - 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない  
感電、故障や火災の原因になります。
  - 同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない  
事故や火災の原因になります。
  - 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない  
異常に気づいたら、お買い上げの販売店か当社ホームページ記載の各営業所に修理を依頼してください。
  - 分解や改造はしない  
感電、故障や火災の原因になります。
  - 強い衝撃を与えない  
感電、故障や火災の原因になります。
  - 濡れた手で触れない  
感電やけがの原因になります。
  - 水をかけない  
感電、故障や火災の原因になります。
  - 布などで覆わない  
過熱による火災やけがの原因になります。

- 注意**
  - 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない  
故障、不具合の原因になります。
  - 火気に近づけない  
変形、故障の原因になります。
  - ペンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない  
変形、故障の原因になります。

### 電池について

指定電池	専用ニッケル水素電池(付属)または 単3形アルカリ乾電池(別売)
------	----------------------------------

- 危険**
  - 電池の液が目に入ったときは目をこすらない  
すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。
  - 電池の液が濡れたときは素手で液を触らない  
液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、ホームページ記載の各営業所までご相談ください。
  - ・万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
  - ・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。

- 警告** \*1は乾電池についてのみ内容です。
  - 火の中に入れない、加熱、分解、改造しない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
  - 釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない  
発熱、破壊、発火の原因になります。
  - 幼児の手の届く所に置かない  
電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の恐れがあります。
  - 電池は (+) (-) を逆に入れない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
  - 長期間使用しない場合は電池を取り出す  
液漏れによる故障の原因になります。
  - 硬貨やカギなど金属製のものと一緒に場所に置いたり、電池の (+) と (-) を接続しない  
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
  - 新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて使用しない\*1
  - 乾電池は充電しない\*1
  - 電池は (+) (-) を逆に入れない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
  - 使い切った電池はすぐに取り出す  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

- 注意** \*1は充電式電池、\*2は乾電池についてのみ内容です。
  - 落下させたり強い衝撃を与えない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
  - 以下の場所で使用、放置、保管しない  
・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所  
・炎天下の車内  
・ストーブなどの熱源の近く  
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
  - 水に濡らさない  
発熱、破裂、発火の原因になります。
  - 指定の充電器以外で充電しない\*1  
故障や火災の原因になります。
  - 外装ラベルが剥がれた電池は使用しない、ラベルを剥がさない  
ショート状態になりやすく、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
  - 変形させたりハンダ付けしない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
  - 保管、廃棄の場合は端子(金属部分)をテープなどで絶縁する  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
  - 機器を使用したあとは必ずスイッチを切る  
液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。
  - 指定の電池以外使用しない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
  - 使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する\*2  
環境保全に配慮してください。

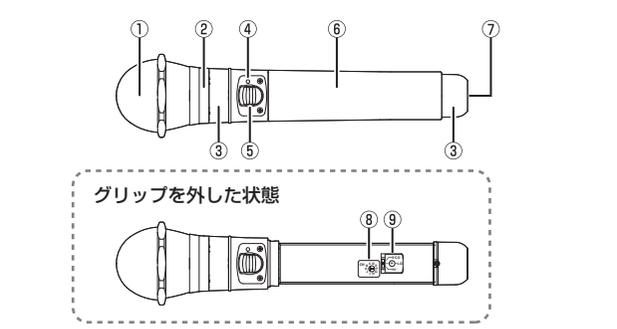
■充電式電池のリサイクルについて  
充電式電池はリサイクルできます。不要になった電池は、端子(金属部分)にテープなどを貼り付けて絶縁してから充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページhttp://www.baj.or.jpをご覧ください。

## 使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 赤外線発光部は手で覆わないでください。
- 赤外線発光部を強く握ったり、ひねらないでください。故障の原因となります。
- 赤外線の出射距離は壁や天井、床などの色や材質によって変化します。
- 携帯電話や PHS、デジタル回路内蔵機器などの影響を受けノイズが発生する可能性があります。その際は、影響がない位置まで離してください。
- 市販の単 3 形アルカリ乾電池を使用した場合、電池残量表示は正しく表示されません。
- 出荷時、充電式電池は充電されていません。
- 初めて充電するときや長時間使用していないときは、充電式電池の持続時間が短くなる場合があります。その際は、何回か充電を繰り返すと通常の充電ができるようになります。
- 充電式電池を使い切らないうちに充電を繰り返すと、充電状態とは無関係に電池が消耗するメモリー効果と呼ばれる現象が起きます。電源インジケーターが消えるまで使い切ってから充電してください。それでも改善されない場合は、充電式電池の寿命の可能性があります。新しい充電式電池と交換してください。
- 充電式電池は充電を繰り返すと、電池の容量が減少してきます。使用時間が短くなってきたら、なるべく早く新しい電池と交換してください。
- 充電式電池にまれに白い粉のようなものが付着することがありますが、故障ではありません。乾いた布などでよく拭き取ってから再度ご使用ください。

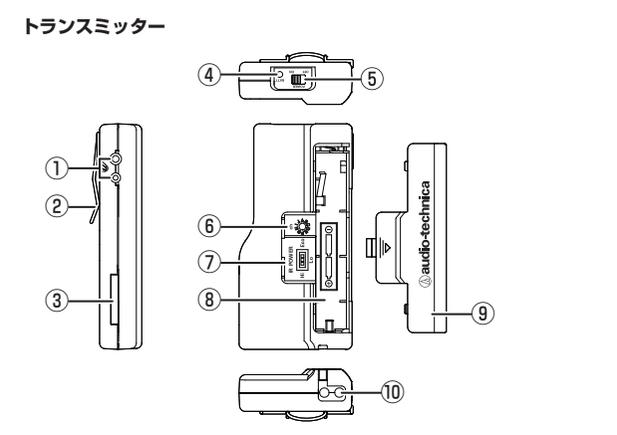
## 各部の名称と機能

### ATIR-T880 (ATUC-IR / ATCS 仕様)



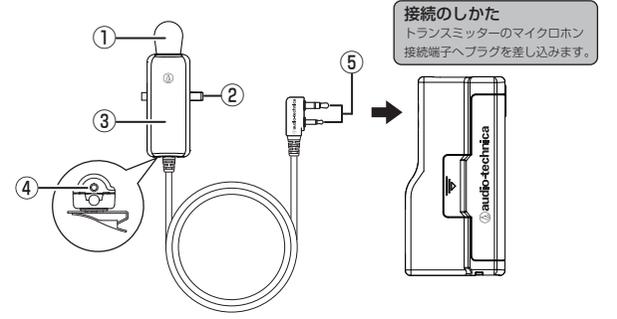
- ①ヘッドケース
- ②銘板  
必要に応じて付属の CH シールを貼ります。
- ③赤外線発光部
- ④電源インジケーター  
電源を入れると電池の残量を表示します。  
・緑点灯 : 使用可能です。  
・赤点灯 / 無点灯 : 充電してください。  
※電源インジケーターの表示は目安です。  
※電源インジケーターが赤点灯の際は、飛距離が短くなり、ノイズの混入や途切れが発生する場合があります。
- ⑤電源スイッチ  
スライドさせ電源のオン / オフを行います。
- ⑥グリップ
- ⑦充電端子
- ⑧チャンネル切換スイッチ  
使用するチャンネルを切り換えます。
- ⑨赤外線出力切換スイッチ  
赤外線出力の設定変更を行います。

### ATIR-T850 (ATUC-IR / ATCS 仕様)



- ①マイクロホン接続端子  
付属のマイクロホンの接続端子を差し込みます。
- ②ベルトクリップ  
ベルトなどに差し込みます。
- ③CHシール貼付位置  
必要に応じて付属のCHシールを貼ります。
- ④電源インジケーター  
電源を入れると電池の残量を表示します。  
・緑点灯 : 使用可能です。  
・赤点灯 / 無点灯 : 充電してください。  
※電源インジケーターの表示は目安です。  
※電源インジケーターが赤点灯の際は、飛距離が短くなり、ノイズの混入や途切れが発生する場合があります。
- ⑤電源スイッチ  
スライドさせ電源のON/OFFを行います。
- ⑥チャンネル切換スイッチ  
使用するチャンネルを切り換えます。
- ⑦赤外線出力切換スイッチ  
赤外線出力の設定変更を行います。
- ⑧バッテリーケース
- ⑨バッテリーカバー
- ⑩充電端子

### マイクロホン (付属)



- ①マイクロホン部
- ②タイピンクリップ  
マイクロホンの固定用クリップです。45°刻みで360°回転します。
- ③赤外線発光部
- ④マイク入力端子(φ3.5mmミニプラグ、プラグインパワー)  
ヘッドウォンマイクを使用する際に差し込みます。プラグを差し込むと本製品のマイクロホン部が使用できなくなります。
- ⑤接続端子(φ3.5mmステレオミニプラグ+φ2.5mmモノラル超ミニ型プラグ)  
トランスミッターのマイクロホン接続端子に接続します。コード長さは約1mです。

## 使いかた

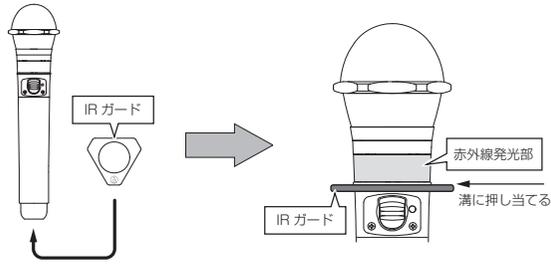
### ATIR-T880 (ATUC-IR / ATCS 仕様)

- ①マイクロホンを充電します。(別売の専用充電器 BC702 を使用)
- ②マイクロホンの電源を入れます。  
※電源を入れて約1秒間は音が出ません。
- ③音が出ることを確認し、レシーバーで音量を調整します。

### ■ IR ガード (付属) の取り付けかた

IR ガードを取り付けることで、グリップ上部の赤外線発光部を手で覆うことを防ぐことができます。取り付けの際は、マイクロホン下部から通し、赤外線発光部の下にある溝まで IR ガードを押し当ててください。

※赤外線発光部より上に取り付けると効果がありません。



### ATIR-T850 (ATUC-IR / ATCS 仕様)

- ①トランスミッターを充電します。(別売の専用充電器BC702を使用)
- ②付属のマイクロホンをトランスミッター本体の入力端子に接続します。
- ③マイクロホンのタイピンクリップで、胸部中央に取り付けます。  
※マイクロホンの赤外線発光部が体と反対側に向くように取り付けてください。
- ④トランスミッターの電源を入れます。  
※電源を入れて約1秒間は音が出ません。
- ⑤音が出ることを確認し、レシーバーで音量を調整します。

### 出力設定の切り換えかた

送信範囲の調整をする場合、グリップ (ATIR-T880) またはバッテリーカバー (ATIR-T850) を取り外し赤外線出力切換スイッチをスライドさせて設定を切り換えます。

設定	出力
HI	出力大
LO	標準
ECO	出力小

※工場出荷時は、「LO」に設定されています。  
※出力を切り換えると、連続使用時間も変わります。

### チャンネルの切り換えかた

電源をオフにしてからグリップ (ATIR-T880) またはバッテリーカバー (ATIR-T850) を取り外し、付属のミニドライバでチャンネル切換スイッチを回してチャンネルを切り換えます。

※電源がオンの状態でチャンネルを切り換えると雑音の原因になります。

本製品は下記のチャンネルに対応しています。下記チャンネル以外に設定すると、電源インジケータが赤点滅し動作しません。

本製品	会議システム	本製品	会議システム		
Ach	2.33MHz	ATUC-IR(Ach)	Ech	3.40MHz	ATUC-IR(Ech)
Bch	2.70MHz	ATUC-IR(Bch)	Fch	2.38MHz	ATCS-60(Ach)
Cch	3.96MHz	ATUC-IR(Cch)	Gch	2.66MHz	ATCS-60(Bch)
Dch	3.13MHz	ATUC-IR(Dch)	Hch	3.18MHz	ATCS-60(Cch)

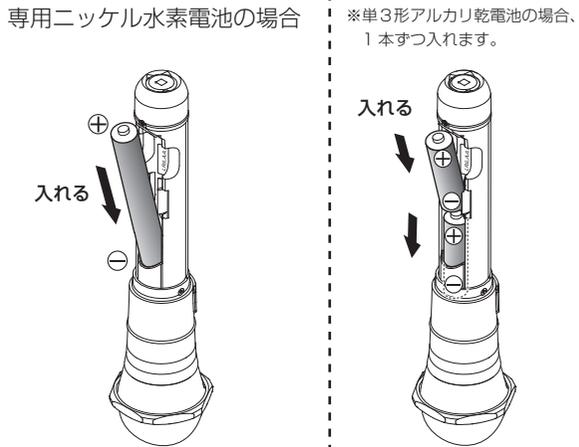
※工場出荷時は、「Ach」に設定されています。

## 電池の入れかた

本製品は市販の単3形アルカリ乾電池2個でも使用できます。その場合、電池残量表示は正しく表示されません。また、アルカリ乾電池は絶対に充電しないでください。

### ATIR-T880 (ATUC-IR / ATCS 仕様)

- ①電源をオフにします。
- ②グリップを反時計方向に回し、取り外します。
- ③ヘッドケースを下に向け、電池を⊖側から先に入れます。

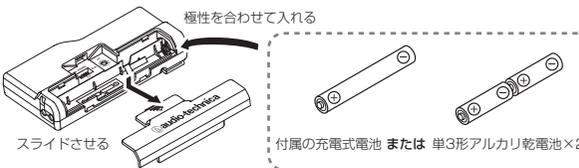


- ④グリップを本体にはめ込み、時計方向に止まるまで回します。
- ⑥電源スイッチをオンにし、電源インジケータが点灯すれば正常です。



### ATIR-T850 (ATUC-IR / ATCS 仕様)

- ①電源をオフにします。
- ②バッテリーカバー天面の **audio-technica** ロゴ上部の  を親指で押さえ、スライドさせてバッテリーカバーを取り外します。
- ③付属の充電式電池、または単3形アルカリ乾電池をバッテリーケース内の極性に合わせて入れます。



- ④バッテリーカバーを取り付けます。
- ⑥電源スイッチを「ON」にし、電源インジケータが点灯すれば正常です。

※電源インジケータが赤点灯または無点灯のときは電池が消耗しています。

## 赤外線会議システムの設定

### ATCS-C60 / ATCS-C60a の設定のしかた

ATCS-60 の取扱説明書も併せてお読みください。

- ①ATCS-C60 / ATCS-C60aのフロントパネルにあるTESTスイッチにて、ATIR-T880またはATIR-T850のマイク数と使用チャンネルを設定します。
- ②ATCS-C60 / ATCS-C60aのPRIORITYスイッチにて、使用チャンネルに応じたプライオリティ数 (優先数) を設定します。

※SETボタンを押す、またはATCS-C60 / ATCS-C60aを再起動すると設定が反映されます。

使用チャンネル	TEST チャンネル	PRIORITY 先押し (後押し)
A	3	1 以上 (6 以上)
B	4	2 以上 (7 以上)
A+B	5	2 以上 (7 以上)
B+C	6	3 以上 (8 以上)
A+B+C	7	3 以上 (8 以上)

ATCS-C60 / ATCS-C60a のプライオリティ設定と使用チャンネルが異なった場合は、ATIR-T880 または ATIR-T850 を使用できません。ATCS-C60MAG を使用する場合、モード変更画面の優先マイク数の設定にて、使用チャンネルに応じたプライオリティ数 (優先数) を設定します。

※ATCS-C60MAG を使用する場合、ATCS-C60 / ATCS-C60a の PRIORITY スイッチの設定は無効になります。

※ATCS-C60MAG のプライオリティ設定と使用チャンネルが異なった場合は、ATIR-T880 または ATIR-T850 を使用できません。

#### ■ 設定例

使用チャンネル	プライオリティ設定	動作
A	1	A チャンネルが使用可能
B	1	プライオリティ設定値が小さいため使用できません
A+B	3	A チャンネルと B チャンネルが使用可能
B+C	2	プライオリティ設定値が小さいため使用できません

### ATUC-IRCU / ATUC-IRCUDAN の設定のしかた

ATUC-IRCU / ATUC-IRCUDAN の設定方法は、「ATIR マイクロホン - ウェブリモート編 -」をお読みください。

### 互換表

会議システム \ マイクホン	ATIR-T880	ATIR-T850	
ATCS-C60	○	○	左表を参考に組み合わせて使用してください。
ATCS-C60a	◎	◎	◎：推奨の組み合わせです。
ATUC-IRCU	◎	◎	○：互換性があります。
ATUC-IRCUDAN	◎	◎	

## 故障かな?と思ったら

#### ■ 電源が入らない

- ・電池の極性を確認してください。
- ・充電式電池を使用している場合、本製品を充電してください。
- ・新しい電池に交換してください。

#### ■ 音が出ない / 音が小さい

- ・接続した機器の音量を大きくしてください。
- ・ATIR-T850を使用している場合、トランスミッターとマイクロホンがしっかり接続されているか確認してください。
- ・ATCS-C60 / ATCS-C60aのTEST、PRIORITYスイッチの設定、ATCS-C60MAG / ATUC-IRCU / ATUC-IRCUDANの設定などが正しいか確認してください。

#### ■ 満充電してもすぐに電池がなくなる

- ・充電式電池がメモリー効果を起こしている可能性があります。一度使い切ってからまた充電してください。
- ※改善されない場合は、充電式電池の寿命 (約750回の充電が目安) が考えられます。新しい充電式電池と交換してください。

#### ■ 症状が良くならない場合は

- ・お買い上げの販売店または当社ホームページ記載の各営業所までお問い合わせください。

## テクニカルデータ

### ATIR-T880 (ATUC-IR / ATCS 仕様)

型式	: バックエレクトレットコンデンサー型
指向特性	: 単一指向性
赤外線波長	: 870±30nm
発振方式	: PLL シンセサイザー方式
周波数特性	: 140 ~ 15,000Hz
変調方式	: 周波数変調
搬送波周波数	: Ach(2.33MHz)、Bch(2.70MHz)、Cch(3.96MHz)、Dch(3.13MHz)、Ech(3.40MHz)、Fch(2.38MHz)、Gch(2.66MHz)、Hch(3.18MHz)
送信チャンネル	: 1 チャンネル
電源	: 専用ニッケル水素電池 RB3UTG (本体に取り付け済み) または単 3 形アルカリ乾電池 ×2
連続使用時間*	: 専用ニッケル水素電池使用時 約 8.5 時間 (ECO モード時) 約 7 時間 (LO モード時) 約 4.5 時間 (HI モード時) : 単 3 形アルカリ乾電池使用時 約 7 時間 (ECO モード時) 約 5.5 時間 (LO モード時) 約 3 時間 (HI モード時)
外形寸法	: φ56×233mm
質量	: 約 262g (専用ニッケル水素電池含む)
付属品	: CH シール、ミニドライバ、IR ガード
別売	: マイクホルダー (AT8426)

\*使用条件により異なります

### ATIR-T850 (ATUC-IR / ATCS 仕様)

型式	: バックエレクトレットコンデンサー型
指向特性	: 単一指向性
赤外線波長	: 870±30nm
発振方式	: PLL シンセサイザー方式
周波数特性	: 140 ~ 13,000Hz
変調方式	: 周波数変調
搬送波周波数	: Ach(2.33MHz)、Bch(2.70MHz)、Cch(3.96MHz)、Dch(3.13MHz)、Ech(3.40MHz)、Fch(2.38MHz)、Gch(2.66MHz)、Hch(3.18MHz)
送信チャンネル	: 1 チャンネル
電源	: 専用ニッケル水素電池 RB3UTG (本体に取り付け済み) または単 3 形アルカリ乾電池 ×2
連続使用時間*	: 専用ニッケル水素電池使用時 約 8.5 時間 (ECO モード時) 約 7 時間 (LO モード時) 約 4.5 時間 (HI モード時) : 単 3 形アルカリ乾電池使用時 約 7 時間 (ECO モード時) 約 5.5 時間 (LO モード時) 約 3 時間 (HI モード時)
外形寸法	: H120×W60×D23mm (ベルトクリップ除く)
質量	: 約 118g (専用ニッケル水素電池含む)
付属品	: CH シール、ミニドライバ
＜マイクロホン (ATIR-M850)＞	
外形寸法	: H88.5×W28×D23mm
ケーブル長	: 1.0m
接続端子	: φ3.5mm ステレオミニプラグ+φ2.5mm モノラル超ミニ L 型プラグ
質量	: 約 48g (タイピンクリップ含む)

\*使用条件により異なります

改良などのため予告なく変更することがあります。

製品保証および修理などにつきましてはお買い上げのお店、または当社ホームページ記載の各営業所までお問い合わせください。

### 株式会社オーディオテクニカ

www.audio-technica.co.jp/proaudio 148906340-01-02 ver.2 2019.05.01

ver.1 2017.05.08